

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成 30 年 9 月 21 日同時配布



平成 30 年 9 月 21 日
国土技術政策総合研究所

コンクリート床版橋の保全に関する共同研究者を募集 ～耐荷力評価方法の高度化及び合理化を検討～

国総研では、コンクリート床版橋の保全方法の合理化を検討するため、共同研究者を本日より平成 30 年 10 月 19 日（金）まで募集します。

国総研では、コンクリート床版橋の保全に関する研究の一環として、横締め PC 鋼棒の有無が耐荷力に与える影響の把握と実務における耐荷力評価方法の高度化及び合理化、中空型枠上部の耐荷・累積損傷機構の評価について共同で研究する共同研究者を募集します。

1. 共同研究名

コンクリート床版橋の保全に関する共同研究

2. 研究項目及び公募条件

【研究項目】

- ・要素技術の検証とその高度化及び合理化

【公募条件】

- ・コンクリート版部材の載荷実験又は数値解析に関する研究実績を有すること。
- ・公募者自らが提案、手配する実験設備で載荷実験を実施できること、又は、公募者自らが提案する解析手法により数値解析を実施できること。

※詳細は、別添資料を御参照ください。

3. 募集期間

平成 30 年 9 月 21 日（金）から平成 30 年 10 月 19 日（金）まで

4. 実施期間

協定締結後（平成 30 年 11 月予定）から平成 32 年 3 月 31 日まで

5. 提案様式、提出方法

詳細につきましては、下記 URL をご参照ください。

国総研ホームページ <http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kyoudou/index.html>

（共同研究の手続きに関する問い合わせ先）

企画部 企画課 主任研究官 長屋和宏、 研究官 中村大樹

TEL : 029-864-2674、FAX : 029-864-1527、E-mail : nil-kyoudoukenkyu@ml.mlit.go.jp

（共同研究の研究内容に関する問い合わせ先）

道路構造物研究部 橋梁研究室 主任研究官 猪狩名人

TEL : 029-864-4919、FAX : 029-864-2690、E-mail : nil-bridged@mlit.go.jp

共同研究の公募内容

共同研究の名称

コンクリート床版橋の保全に関する共同研究

担当研究室

道路構造物研究部 橋梁研究室

実施期間

協定締結後（平成 30 年 11 月予定）～平成 32 年 3 月 31 日

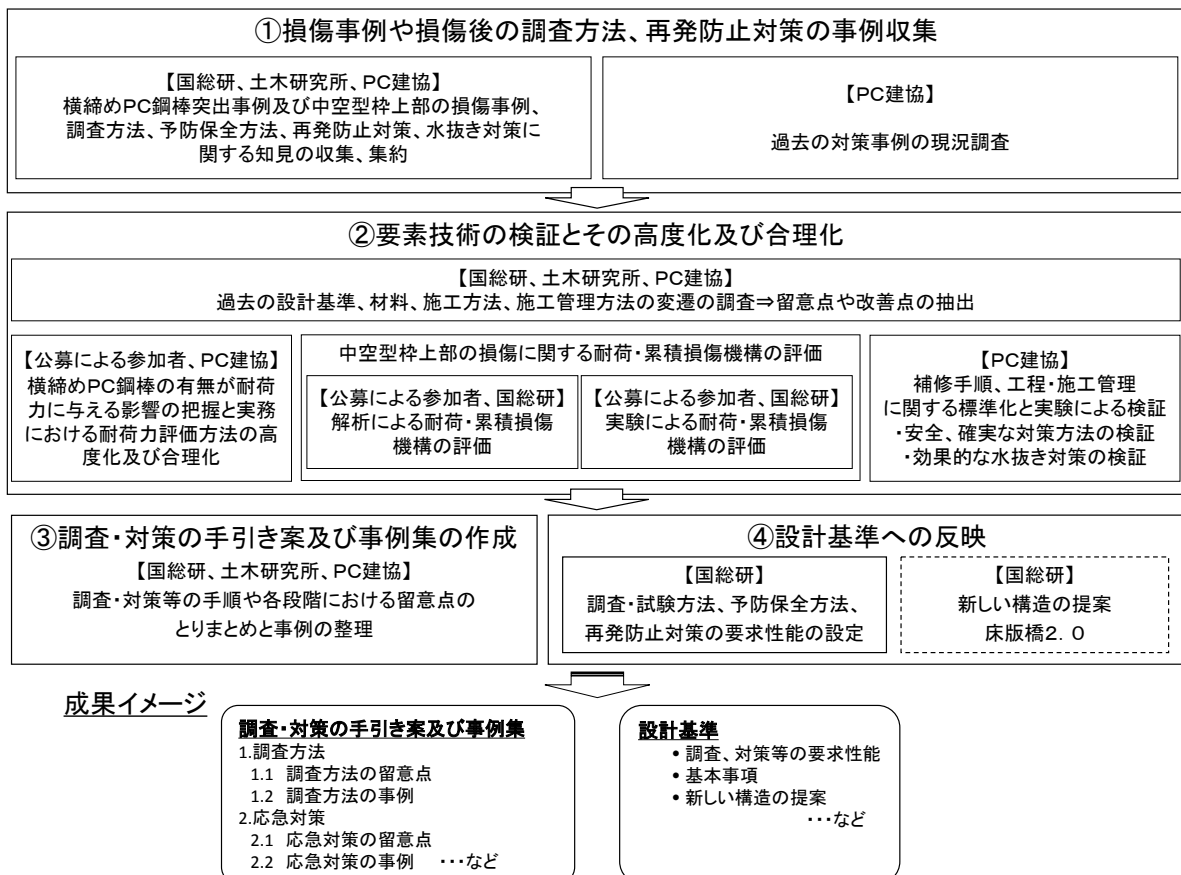
共同研究の背景及び目的

コンクリート床版橋は、他の構造に比べ桁高を低くできることや、比較的構造が単純で施工性に優れるなどの利点から、多数整備されている。一方で、過去に施工された一部の橋梁では、PC 鋼棒が腐食により破断し保護コンクリートを破壊して突出した事例や輪荷重の繰返し载荷により床版の踏み抜きが生じた事例等が確認されている。

そこで、本共同研究では、コンクリート床版橋の損傷事例や調査・対策に関する知見を集約し、事例集及び調査・対策の手順や各段階における留意点を取りまとめた手引き案を作成する。

実施体制と公募の対象

本共同研究は、国総研、国立研究開発法人土木研究所（以下、「土木研究所」という）、一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会（以下、「PC建協」という）及び公募による参加者がそれぞれの専門性と知見に基づき研究を分担しつつ、相互に協力をして実施する。公募による参加者は、横締め PC 鋼棒の有無が耐力に与える影響の把握と実務における耐力評価方法の高度化及び合理化のための解析、中空型枠上部の損傷に関する耐力・累積損傷機構を評価するための実験又は解析を実施し、明らかになった事項を取りまとめる。



研究項目と研究分担

共同研究者は、各自の技術開発能力の高い分野の研究を主として分担する。

研究項目	研究細目	研究分担				年次計画	
		国総研	共同研究者			30年度	31年度
			指定機関		公募		
			(国研) 土木研究所	(二社) プレストレスト・ コンクリート建設業協会	公募による参加者		
① 損傷事例や損傷後の調査方法、再発防止対策の事例収集	横締め PC 鋼棒突出事例及び中空型枠上部の損傷事例、調査方法、予防保全方法、再発防止対策、水抜き対策に関する知見の収集、集約	◎ (集約)	◎ (調査)	◎ (対策)	—	↔	
	過去の対策事例の現況調査	○	○	◎	—	↔	
② 要素技術の検証とその高度化及び合理化	標準設計、JIS、材料、施工方法、施工管理方法の変遷の調査	◎ (集約)	◎ (材料等)	◎ (施工)	—	↔	
	横締め PC 鋼棒の有無が耐荷力に与える影響の把握と実務における耐荷力評価方法の高度化及び合理化	○	—	◎ (解析)	◎ (解析)	↔	
	中空型枠上部の損傷に関する実験や数値解析による耐荷・累積損傷機構の評価	◎ (実験、解析)	—	—	◎ (実験、解析)	↔	
	補修手順、工程・施工管理に関する標準化と実験による検証	○	—	◎ (補修手順、 工程・施工 管理に関する 実験)	—	※1 ↔ ※2 ↔	
③ 調査・対策の手引き案及び事例集の作成	調査・対策等の手順や各段階における留意点のとりまとめと事例の整理の作成	◎ (全体まとめ)	◎ (調査法まとめ)	◎ (施工法まとめ)	○	※1 ↔ ※2 ↔	
④ 設計基準への反映	調査・試験方法、予防保全方法、再発防止対策の要求性能の設定	◎	—	—	—	↔	

※研究分担の欄の記号は以下のとおりである。

◎：該当する項目及び細目を主として分担する

○：該当する項目及び細目を従として分担する

—：該当する項目及び細目を分担しない

※共同研究者は、各自の技術開発能力の高い分野の研究を分担しつつ、相互に連携して研究を進めるものとする。

※1：横締め PC 鋼棒突出に対する調査・対策等各段階の事例・留意点を取りまとめた中間成果の作成

※2：※1 及び中空型枠上部の損傷に対する調査・対策等各段階の事例・留意点を取りまとめた全体成果の作成

研究項目の概要

②要素技術の検証とその高度化及び合理化

- 1) 過去の設計基準、材料、施工方法、施工管理方法の変遷を調査し、課題を抽出する。
- 2) 横締めP C鋼棒の有無が耐荷力に与える影響の把握と実務における耐荷力評価方法の高度化及び合理化を行う。
- 3) 中空型枠上部の損傷に関する実験又は数値解析を実施し耐荷・累積損傷機構等の評価を行う。
- 4) 横締めP C鋼棒突出事例及び中空型枠上部の損傷事例に対する補修手順、工程・施工管理に関して、安全で確実に実施することができる方法の標準化や実験による検証を行う。

募集する共同研究者に対する条件、募集する共同研究者数等

【共同研究者（公募）に対する条件】

共同研究者（公募）は、以下の条件（①～⑤について全て）を満たすものとする。

- ①以下の研究の実績を有すること。
 - I. コンクリート版部材の載荷実験又は数値解析に関する研究実績
- ②公募者自らが提案、手配する実験設備で載荷実験を実施できること、又は、公募者自らが提案する解析手法により数値解析を実施できること。
- ③共同研究の実施ができる体制が確認できること。
- ④本共同研究の各者で実施する研究に係る費用を自ら負担できること。（国総研から共同研究者に対し、費用を支払うことはできません。）
- ⑤本共同研究の国総研が分担する業務に関する請負業務への競争参加資格の喪失を了承すること。

【共同研究者（公募）の申請方法】

ホームページに掲載された規定の様式に則って作成した共同研究応募申請書等を提出すること。

【共同研究者（公募）の参加者数等】

参加者数は上限を設けない。

【共同研究者（公募）の審査】

参加者の決定に当たっては共同研究応募申請書等に基づき審査し、上記の「共同研究者（公募）に対する条件」に照らして道路構造物研究部で総合的に評価し、判断する。なお、必要に応じてヒアリングを実施する。

公募条件及び研究内容に合致しない場合は参加を認めない。

問い合わせ先

（共同研究の応募その他手続きに関するもの）

企画部 企画課 主任研究官 長屋和宏、 研究官 中村大樹

TEL : 029-864-2674 / FAX : 029-864-1527

E-mail : nil-kyoudoukenkyu@ml.mlit.go.jp

（共同研究の研究内容に関するもの）

道路構造物研究部 橋梁研究室 主任研究官 猪狩名人

TEL : 029-864-4919 / FAX : 029-864-2690

E-mail : nil-bridged@mlit.go.jp